

下名小学校
「学力向上実行プラン」

生きて働く確かな学力の育成

～主体的・協働的な授業の実践を通して～

学力向上推進員

矢野 日南

委員

総括: 柳生 敦

柳生 敦

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの教科にも一生懸命取り組んでいる。 ●知識・技能の定着に時間を要し、時間が経つと忘れてしまう。 ●漢字の読みや文章の読み取り、書く力に課題がある。	①基礎的・基本的な読む力、書く力、計算力を身につけることができる。 ②文章を正しく読んだり書いたりすることができる。	①ドリル学習や漢字検定、プリント等を活用することで定期的に復習し、個別指導を行う。 ②書く活動を多く取り入れる。 ③音読や朗読の学習を取り入れ、文章の中で漢字の読みや言葉の意味を捉えさせる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○人前の発表の場において、積極的に自己表現しようとする事ができる。 ●自分の考えを適切な言葉を用いて表現し、相手に分かりやすく伝えることが苦手である。	①既習事項の知識・技能を活用して問題に取り組むことができる。 ②共通点や相違点を考えながら、他者の意見を聴いたり、自分の考えを深めたりすることができる。	①合同学習や全校集会を実施する。 ②ホワイトボードや付箋、ICT等を活用する。 ③深い学びになるよう、「言い換える」「比べる・関連づける」などを発問する。 ④自身の考えを言葉にして発表し合う学習活動を取り入れる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた学習に根気強く取り組むことができる。 ●自主的・主体的に学ぼうとする意欲が十分ではなく、文字を丁寧に書いて学習に取り組むことが難しい。 ●読書習慣が身につけていない。	①新聞や本を読んだり、インターネットで調べたりすることを通して、興味や関心の幅を広げ、自ら学ぼうとする。 ②各教科の学習に自主的・主体的に学ぶことができる。 ③積極的に読書活動を行うことができる。	①図書室の本や子ども新聞、タブレット端末等を活用した活動を取り入れ、児童らが自ら学べる機会を増やす。 ②並行読書を積極的に行ったり、おすすめの本を紹介させたりして、児童が本や読書に関心を持てるようにする。 ③丁寧に字を書くことの大切さを継続的に伝え、できた場面では前向きな言葉をかける。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

